

第3回
定例会

一般質問

第3回定例会の一般質問は、9月12日、13日の2日間行われ、9名の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、市長に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方や、市民に密着した問題などをたずため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。



長浜 音一 議員

ICT教育の先進地・古河の今後について

問 2年余りのICT教育の有効性と活用法についての検証結果や指導者育成、環境整備など今後の取り組み方について問う。



ICT機器を使用した授業風景

答（教育長） ICT機器を主体的、対話的で深い学びの推進のための便利なツールとして活用しており、大いに評価している。今後はモデル校の授業研究会や市教育研究会等と綿密な連携を行い、教職員のスキルアップにつなげたい。また費用負担が大

きいことが課題であるが、国の示す目標水準にできる限り近づけるよう努力していきたい。

学校教育現場の改善・向上策について

問 市独自の学校教育支援体制や教員の負担軽減策など、教育委員会の今後の方針、取り組みについて問う。

答（教育長） 教育課程については学習指導要領に基づき、各学校で創意工夫した教育課程を行っている。また、教職員がゆとりと笑顔で授業に臨めるような施策を、教育懇談会、校長会、教育研究会、PTA連絡協議会等々から意見をいただき、古河市の特色ある教育課程、授業日数を見出していきたい。

行財政改革の実効性について

問 実質公債費比率や将来負担比率の引き下げについて行政改革推進委員会から要望が出ているがどのように取り組むのか。

答（財政部長） 施策と財政規律のバランスを考え、市債の発行は抑制していく考えのもと、財政基盤の強化を図っていきたい。